

大野っ子



大野小学校だより
2022年 1月24日
文責：校長 矢倉 信正

今年もよろしくお祈いします ～仕上げと準備 成長の学期に～

1月11日(火)、3学期の始業式は、新型コロナウイルス感染症対策の中、放送で行いました。子どもたちに「3学期の取組」について話をしました。

○3学期は「仕上げ・感謝・準備」を大切にしてください！

3学期も「自分・まわりの人・目標」を大切にしてください。特に3つのことを大切に！

- ・自分を大切にする → 「仕上げ」を大切に → 今の学年の仕上げ
- ・まわりの人を大切にする → 「感謝」を大切に → まわりの人・もの・ことに感謝
- ・目標を大切にする → 「準備」を大切に → 次の学年の準備

2022年、干支は「寅」です。詳しくいうと「壬寅(みずのえとら)」です。「寅年」にも「勢いがよい寅・寝ている寅・暴れん坊の寅・千里を走る寅・優しい寅」の5つがあり、今年は、優しい寅の年だそうです。寅年には、「生まれたものが成長すること」「新しく立ち上がること」という意味があります。

3学期は、今の学年の「仕上げ」をし、まわりの人に感謝し、次の学年の「準備」をする学期です。自分を成長させて、今の学年の仕上げをして、次の学年の準備のために新しく立ち上がる3学期にしてほしいと思います。

早いもので、1月もあと1週間あまりです。1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われます。短い3学期、早い時間の流れの中で、確実に「仕上げ」と「準備」をしていきたいと思ひます。



2022年もよろしくお祈いいたします！

幼・小連携研究発表会

今年度、おおのさくら幼稚園と大野小学校は、豊後大野市教育委員会指定の「幼・小連携教育」に取り組んでいます。昨年度までも連携はしていたのですが、特定の行事や学年での交流でした。そこで、今年度は、すべての学年が幼稚園と交流活動を行うように計画しました。

【幼・小連携の目的】

- 育ちの連続性の確保と小1プロブレムの緩和
- 主体的に自己を発揮しながら、学びに向かう子どもの育成
- キャリア教育の一環としての人間形成能力の育成

幼稚園では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を大切にしながら、教育にあたっています。これは、幼稚園での活動をとおして、育んでいきたい資質・能力です。しかし、この「10の姿」は、幼稚園だけのことではなく、小学校においても大切なことです。

幼稚園と小学校が連携しながら、子どもどうしがつながることで、お互いに安心したり、園や学校生活への意欲が高まったりしています。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】

- 健康な心と体 ○自立心 ○協同性 ○道徳性・規範意識の芽生え ○社会生活との関わり
- 思考力の芽生え ○自然との関わり・生命尊重 ○数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い ○豊かな感性と表現

研究発表会では、交流活動として、幼稚園さんと5年生が、正月遊びをして楽しみました。5年生が幼稚園さんに合わせてやり方を工夫したり、逆にこまの回し方を教えてもらったりしながら、和やかな温かい雰囲気の中で、笑顔や笑い声があふれていました。

幼・小連携教育と小中一貫教育あわせて11年間で、大野っ子の育ちを支援していきます。

